

妖精が舞う、森のオアシス

Ikegahara Marsh

池ヶ原湿原は、奥飛騨数河川流域県立自然公園内にある標高960m~980m、広さ約5haの湿原です。駐車場から歩いてすぐに湿原が広がり、季節ごとにさまざまな風景を見せてくれます。湿原内には、木道が整備されており車イスやベビーカーでの散策が可能で多くの方々にお楽しみいただけます。



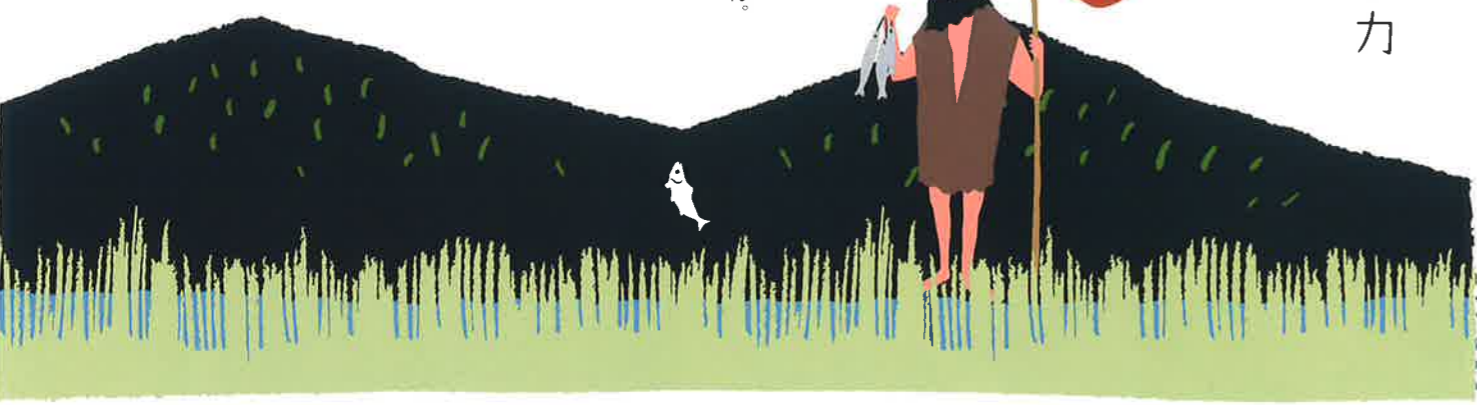
岐阜県天然記念物
「湖のミズアザミ・リュウキンカ 群生地」

岐阜の宝もの
天生県立自然公園と三湿原回廊

池ヶ原湿原の魅力

池ヶ原湿原は、飛騨市宮川町の洞、菅沼という二つの地区にまたがる三ノ高原の中にあります。太古より豊かな水が湧き出ており、自然の恩恵を受けた湿原には多種多様な草花が自生します。ニオイでは縄文時代に狩人達が短期的なキャンプを行っていたという遺跡も残っており、縄文時代の狩人達も、湿原の美しい風景を見ていたのかもしれない。また、大蛇が住んでおり、地下を通つてふもとの川まで魚を取りに行っていたという言い伝えや、長者が住んでいて丸山に金銀財宝を埋めて旅に出たという伝説があります。

雪解けの早春から秋の紅葉まで、季節毎に様々な表情を見せてくれる湿原は、ゆつたりと静かな時間が流れる。非日常を感じられる空間。澄んだ水のせせらぎや小鳥たちのさえずり、吹き抜ける風が揺らす葉の音、森の息づかいを五感で感じながら散策をお楽しみください。



問い合わせ先 ●(一社)飛騨市観光協会 tel.0577-74-1192 (平日のみ) fax.0577-73-0099 〒509-4224 岐阜県飛騨市古川町志之町14-5 mail/info@hida-tourism.com
●飛騨市役所 観光課 tel.0577-73-2111 (代) fax.0577-73-6866 〒509-4292 岐阜県飛騨市古川町本町2-22

webでもご覧いただけます。北ひだの森をあるこう 検索 http://hidamoriaruki.com/

※このパンフレットは岐阜県からの補助を受けて制作しています。



高山/富山からのアクセス
高山駅から 車で約1時間20分(国道41号、国道360号経由)
飛騨清見ICから 車で約1時間10分(県道90号、国道41号、国道360号経由)
飛騨古川駅から 車で約1時間(国道41号、国道360号経由)
富山駅から 車で約1時間10分(国道41号、国道360号経由)
富山ICから 車で約1時間10分(国道41号、国道360号経由)

ナビ登録 飛騨みやがわ考古民俗館 / 〒509-4533 岐阜県飛騨市宮川町塩屋104 ※電話番号はありません。

入園するみなさんへのお願い

- ペットの連れ込みは生態系に影響を及ぼすおそれがありますのでご遠慮下さい。
- 歩道から外れたり、湿原に踏み込まないようにしましょう。
- 動植物(山菜・キノコを含む)の捕獲・採取はやめましょう。

池ヶ原湿原の自然環境を保全するため、森林環境整備協力金をお願いしています。

飛騨の自然を愛する
インタープリター(=森の案内人)が北飛騨の森を案内します♪

森を歩くガイドプラン(4月~11月)
■3時間/19,000円 ■4時間/22,000円
■5時間/26,000円 ■6時間/30,000円
※料金は、すべてガイド1名の料金です。※ガイド1名でお客様8名程度まで案内可能。

オーダープログラム場所や時間、人数、体験したいことなどをお客様に合わせてオリジナルプランをお作りします。
ガイド予約 NPO法人 飛騨市・白川郷自然案内人協会 tel&fax 0577-65-2211(平日) webを参照

池ヶ原までのルート

— 推奨ルート — ※冬季通行止めあり

約9.4km (約30分)

入口 平成橋(赤い橋) 塩屋 JR打保駅 洞のカツラ 菅沼カツラ 柵田と板倉の里 種蔵 至古川・高山

飛騨みやがわ考古民俗館 岐阜県飛騨市宮川町塩屋104
宮川町内で出土した土器や石器、民俗資料などを展示公開。国指定有形民俗文化財、県指定文化財、県重要文化財に指定された塩屋金神社出土品等。
飛騨市役所 宮川振興事務所 tel.0577-63-2311 ※見学には予約が必要

さらに詳しい探索マップは内面にあるよ!

ガイドの予約については、3日前までにお申し込みください。

少し温んだ水の中にはイワナが泳ぎ、オシドリが水浴びをしています。
春の草花に代わり、サワオグルマが一面を黄色く染め、
木道ではカキツバタも楽しめます。

Early Summer
初夏
6月

見渡すかぎりの美しい新緑



散策マップ



木道	約60分~90分 距離(往復)約1,280m
林間遊歩道	約40分 距離(片道)約700m
木道~ 林間遊歩道	約70分 距離(約)1,380m

スプリング・エフェメラル
「春の移りものたち」
という意味で、早春に花をつけ、
夏まで葉をつけると、
あとは地下で過ごす
草花たちのことです。
「春の妖精」とも
呼ばれています。

Spring
春
4-5月

湿原に妖精が舞い降りる季節

まだ吹き抜ける風に寒さの残る早春。
春を待ちわびたミズバショウが一斉に咲き始めます。
黄色い花をつけるリュウキンカと織りなす様子は春の池ヶ原湿原を代表する風景。
林間遊歩道では春の妖精キクザキイチゲが足元で可愛らしく咲きます。



Autumn
秋
9-10月

落ち葉を踏みしめ、紅葉をひとりじめ

10月初旬になると木々が色づきはじめ、中旬には紅葉は見頃を迎えます。
林間遊歩道を歩くとカツラの葉のキャラメルのような甘い香りが出迎えてくれます。
白樺の白い木肌と赤や黄色の葉とのコントラストはこの時期にしか出会えない光景です。



Summer
夏
7-8月

真つ青な空と木漏れ日と

鮮やかな木々の緑と晴れ渡る空、
夏の池ヶ原湿原はゆつくりとした時間が流れる不思議な空間。
照りつける太陽の日差しを木立ちが優しくさえぎり、
暑さも忘れる心地よさに身を委ねれば自然と一体に。

池ヶ原湿原の植生回復事業の取り組み

かつては豊かな湿原植生が見られた池ヶ原湿原ですが、近年はミズバショウやリュウキンカの咲く時期が終わるとヨシが伸び始め、7月以降になると繁茂したヨシで木道も歩けない状況でした。そこで、岐阜県文化財保護審議会の指導を受け、ヨシの除伐と根切りを実施してきました。関係団体や市民ボランティアの協力で続けてきた結果、顕著な植生回復が見られるようになりました。

●ボランティアへの参加に関するお問い合わせ先: 宮川 振興事務所 / ボランティア登録アドレス misangyo@city.hida.lg.jp

